



地域活動と学校教育活動の連携の未来形を模索して！！

浅江中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール(以下、CS)となってから今年で15年目になります。CSになる以前も、地域との連携を進めていた浅江中ですが、CSとなってからは、組織的、継続的な地域との連携体制が確立しています。

そして令和の時代となり、浅江中では「これまでの思いや実績をしっかりとみしめながら、時代や環境の変化にあわせた“未来思考”の地域連携」を模索し、「成果と持続可能性の担保」をキーワードに、できることをできる形で実行するための試行錯誤中です。

そんな中、今週末(1月22日)3年ぶりに実施される「虹ヶ浜海岸松林保全ボランティア」について、以下のような見直しの視点をもって具体的な取組を進めています。

【見直しの視点】

「浅江中生は地域の担い手の一人」としてとらえ、子どもたちに「ボランティア活動にどのような意味があって、どのような思いが込められているか」をしっかりと伝え、子どもたちが活動の意義を理解した上で、自分の週末のスケジュールを考えながら主体的に参加の有無を判断できるように、学校の教育活動を計画的に仕組む!!

【「虹ヶ浜海岸松林保全ボランティア」におけた具体的な取組】

☆STEP1 校長先生による情報発信

新年初めの全校集会で、虹ヶ浜の松林の現状(実際に自分で訪れて確認した)を子どもたちに伝えるとともに、ボランティアに向かう姿勢や地域の思い等を話しました。話の途中には、教室の席のとなりの級友と意見交換をし、ボランティアについて気付き・考えるきっかけになっていました。



1,2年整美委員は、応接室で直播……その他の生徒は、オンラインで各教室のハイブリッド開催です。

☆STEP2 県・市、地域の担当者からの学び(右上写真)

周南農林水産事務所、光市農林水産課、浅江コミュニティ協議会環境部の方をお招きして、松林の基礎知識や保全の意味・必要性について学ぶとともに、作業時の注意事項、地域の松林への思いを聞きました。

3年生は、私立高校受験シーズンのため、別対応をしています。

☆STEP3 道徳での学び(1・2年)

特別な教科である道徳の授業で、「自然環境を愛する・守る」を題材に考えを深めました。1年生は12月に「木の声を聞く」、2年生は昨日(下写真)、「よみがえれ、えりもの森」を教材に学んでいます。



2-1



2-2



2-3



2-4

☆STEP4 行動

STEP1～STEP3を受けて、あとは自分で考え、1月22日(日)の自分の都合で参加・不参加を決定することになります。延期の際のみ、前日の土曜日に一斉メールでお知らせしますので、確認をお願いします。